



市長随筆

Mayor Essay

生きがいつくりなど 心新たに

7回目を迎える天草マラソン大会が11月18日、本渡運動公園陸上競技場前をスタート・ゴールとするフルマラソン、ハーフマラソンの2種目で開催されました。

秋晴れの最高のコンディションの中、参加者の皆さんは、完走や自己記録更新を目指して、友だちとの楽しみとしての参加など、さまざまなお気持ちで秋の天草路を満喫されたようです。

今年の大会は、昨年より約370人多い3,069人が参加されました。スタイルもさまざま、着ぐるみを着た人、パールックでの参加、鮮やかな色あいのスタイルなどなど。中でも目を引いたのが、Tシャツに「金婚記念」と書かれたご夫婦。なんともうらやましいことです。お二人仲良く、この大会に参加されるということは、日ごろからご健康で楽しい生活を送られているのではないかと想像いたしました。

10月末現在で本市の高齢化率は33.1%で、3人に1人が高齢者という数字が出ています。マラソン大会でのご夫婦のお姿を拝見して、市内の高齢者の皆さんがいつまでもお元気で活躍していただけるように、生きがいつくりや社会参加ができる環境づくりなど、なおいっそう取り組んでいかなければならないと心新たにいたしました。

天草市長 安田公寛

家庭用ゲーム機の トラブルにご注意!

消費生活

家庭用ゲーム機の中には、インターネットに接続することでゲームソフトなどを購入できるものがあり、子どもが保護者の知らないところで使用し、後々トラブル(クレジットカードの請求など)になる事例が増えています。ゲーム機を子どもが使用する場合は、「注意書き」をよく読んで、あらかじめ「保護者による使用制限」を設定することで、トラブルを未然に防ぎましょう。詳細は、市消費生活センターへご相談ください。



【問い合わせ先】

天草市消費生活センター ☎ 26677

実践 エコ 暮らしのECOセトラ

すぐできる わが家の冬のエコ対策

冬は、家庭での電気やガス、灯油などの使用量が増える季節です。暖房機器を使うのを「がまん」するのではなく、使い方を見直し、環境にやさしい暮らしを実践しましょう。

【暖房器具】

- 暖房時の室温は20℃を目安に。
- ひざかけや靴下で体感温度をアップ。
- こたつ布団には、上掛けと敷布団をあわせて使用。

【お風呂】

- 間隔をあげずに、家族で続けて入浴を。
- 上がるときは、浴槽にフタを。

【トイレ(温水洗浄便座)】

- 使わないときは、便座のフタを閉める。
- 洗浄水や便座は適切な温度設定に。

【その他】

- 洗濯物の部屋干しは、室内の加湿に効果があります。
- 寒い冬こそ、徒歩や自転車で体温をアップ。

【問い合わせ先】

本庁・環境課 ☎ 21111内線1283



▲(株)九電工での搾油の様子

10月中旬を過ぎたころから、緑色だったオリーブの実がだんだんと赤色から黒色へ熟し始め、市内の4つのほ場(倉岳、御所浦、(株)九電工、(有)共栄ファーム)でもオリーブが収穫されました。収穫された実はさっそく、(株)九電工や(有)共栄ファームの搾油機へ。搾油機では、まず、オリーブの実を種ごと粉砕。粉砕した実をゆっくりと練って油の分子を抽出しやすくした後、遠心分離機を使って搾りかすや水などと油を分離。出てきた油をろ過して、オリーブオイルのできあがりです。少量の果実であれば、袋に入れた果実を指で潰し

ながらよく揉みます。その後、ろ過してでてきた上澄み分のオイルをすくって使用します。今年、市内で収穫された実は合わせて約530kg。約40リットルの天草産オリーブオイルが誕生しました。(株)九電工で収穫された果実は品種ごとに搾油されたので、それぞれの品種独特の味や香りのオリーブオイルに。一方、倉岳、御所浦、(有)共栄ファームはさまざまな品種を混ぜて一度に搾油されましたので、搾り方によって味や香りが異なるオリーブオイルになりました。

※詳しいことは、本庁(別館)・農業振興課 ☎ 11111内線2585へお尋ねください。

収穫した果実からオリーブオイルを搾油!

オリーブの島づくり

たより



黒島

御所浦島の西4km、御所浦港から船で15分のところに浮かぶ周囲約1.9kmの無人島「黒島」。夏場は海水浴やキャンプをする観光客でにぎわいを見せ、干潮時にはとりの「ひょうたん島」へ歩いて渡ることができます。

島名のとおり、潮が引くと教良木層という約4,700万年前の深い海でできた、黒い岩石の地層が現れます。また、海水浴場は金平糖に似た形をした真っ白な砂のようなものできていますが、これは「石灰藻」という海藻の骨格です。

この島では、「生痕化石」と呼ばれるゴカイなどの生物がはいまわった跡の化石が見つかります。



▲黒島で自然観察を行う子どもたち



石灰藻▶

【問い合わせ先】 御所浦白亜紀資料館 ☎ 2325